

更新日時	2026/03/31 9:00:04
年度	2026
講義コード	62200156
講義名称	環境防災学
開講責任部署	看護学研究科看護学専攻博士前期課程
講義区分	講義
基準単位数	1.0
代表曜日	木曜日
代表時限	4 時限
講義開講時期	後期
校地	池キャンパス
科目区分	
授業方式	単独
対象年次	1～
必選区分	

担当教員

氏名	所属
◎ 大村 誠	非常勤講師

履修における注意点	授業はすべて、時間割通りの時間に遠隔（Zoom）で行う。 MoodleでPDF資料を提供する。 使用言語：日本語（授業、資料、動画とも） 受講生数：5人程度以下 受講生との質疑を重視して、授業を行う。 災害の事例を学ぶために、視聴覚教材や報道資料を多用するので、Zoomで動画を視聴できる受講環境が必要です。 災害経験者など、災害映像資料の使用について配慮が必要な受講生は事前に必ず申し出ること。
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP2,4を修得するために重要な科目。
授業の概要	地球科学に関する幅広い知識を利用して、地域における開発・保全・防災・環境問題に取り組むための学術的基礎素養と、自助・共助・公助など、多様な場における問題解決に応用できる基礎的能力を身につける。
達成目標（達成水準）	各受講生の専門性に関連づけて、自然災害と自然環境・都市環境との関連を理解することができる（50%） 災害対応の流れ「備える」「生き抜く」「立ち直る」を意識した防災を考えることができる（50%）

授業計画表

回	内容
第1回	受講生それぞれの興味・関心・目標について意見交換 自然災害の素因と誘因(日本を例に)、ハザードマップほか
第2回	地震と活断層
第3回	南海トラフ地震と関連する現象(津波、火山噴火を含む)
第4回	地震の概要・首都直下地震
第5回	長周期地震動・地盤液状化
第6回	地盤災害・土砂災害・津波（津波火災を含む）
第7回	気象災害、土砂災害、防災情報
第8回	気象災害など補足、まとめ 受講生の理解度、興味・関心、災害の発生など、状況により、授業目的の達成に適するよう各回の授業内容を大幅に変えることがあります。

成績評価（基準と方法）	授業への積極的参加（30%）、毎回の事後課題小レポート（20%）、最終レポート（50%）
教科書・参考書	MoodleでPDFの資料を提供する。 参考書、参考WEBサイトは、授業の中で紹介する。
授業外学習課題	第1回～第8回 必須の事後確認課題（小レポート：必須）を回答する。 第8回 必須の最終レポートを回答する。
オフィスアワー	初回に説明するように、直接メールで相談します。
備考	授業開始の1か月ほど前に、各受講生の研究内容、興味・関心、高校までの理系科目の受講状況などのアンケートを行い、受講生に適した授業を計画します。ご協力をお願いします。